



新年度のスタート

新学期が始まり二週間が経ちました。新しい友人はできましたか？クラスにすんなりと馴染める人や人見知りする人などいろいろでしょうが、大丈夫、いずれ慣れます。一年生もまだ暫くは緊張する日が続くでしょうが、しばらくの辛抱です。

人は見かけで判断する

朝、校門に立っていますと、皆さん一人一人の服装にも目がいきます。ところで、皆さんは「人は見かけで判断してはいけない」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？この言葉は見る側と見られる側のよって、異なる解釈がされます。

まず、見られる側にとっては「人間の価値は見た目とは関係ないから、どの様な格好をしていてもかまわない」というものです。この解釈をどう思いますか。「そう、その通り」とうなずく人も多いでしょう。

次に、見る側にとっては「人間の本質を理解することは難しく、誤解しやすいものだ。だから、他人を見るときは十分注意して見る必要がある。」という解釈です。逆に言うとそれくらい人は見た目で判断されますよと注意を促す意味があるのです。「人は見た目が 9 割」というタイトルの本がありましたが、社会人になると見た目が変だと相手にされません。「普通の人であれば他人に不快感を与えない様な格好をするので、そういう事に気を使えない人は普通じゃないと」判断されます。

レや化粧をして下さい。

年齢になつてから、上品なおしゃれや化粧をして下さい。

毎朝、たくさんの先生が校門で、挨拶運動をしています。これは一日のスタートを気持ちよく始めましょうという目的で行っています。「おはよう」と声をかけ「おはようございます」と大きな声が返ってきたら、「今日もいいことがありそうだ」と嬉しくなります。下を向いたまま、聞こえるか聞こえないか分からないほど小さな声しか返ってこなかったら、「元気がないな、大丈夫かな」と心配になります。中には全く無反応で無視していく生徒もいます。これでは社会人として失格です誰からも相手にされなくなります。

★朝の挨拶運動

◆中学生の化粧

三年生は入試で面接があります。面接はどの高等学校でも重視されます。十分注意して下さい。

(文責 校長)

